



CS-2 透視台

診察用X線透視台

Diagnostic Table

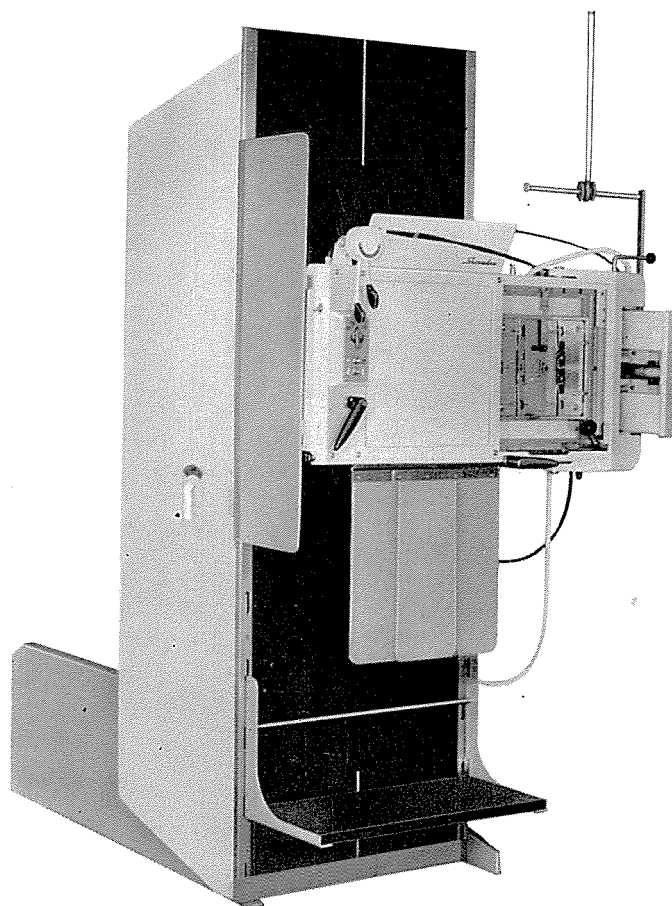
用 途

この装置は、診察用X線高電圧装置およびX線管装置と組み合わせて使用するX線透視台で、つぎの用途に適します。

- 1 透視診察
- 2 速写撮影

特 長

- 1 分割速写装置を備えていますので、高級透視台なみの分割速写撮影ができます。
- 2 分割速写撮影を行なうときには、分割選択器を最初に調整するだけで、あとは移動ハンドルを操作すればよいので、操作が非常に簡単で、かつ正確に行なえます。(実用新案541663)
- 3 ケイ光板部は、ストッパをはずすと簡単に前方へ開くことができますので、患者の出入りが容易で、寝台水平位置での上方よりの直接撮影も障害なくおこなえます。
- 4 ケイ光板部上下・左右移動のブレーキは、ケイ光板部左手にある支持ハンドルが兼用しており操作もそのハンドルを斜めにしたり、垂直にするだけで、瞬時にブレーキがかかったりはずれたりします。
(実用新案541662)
- 5 ケイ光板部は天井懸垂方式により立位、水平位などあらゆる状態で完全にバランスがとれており、円滑に移動し操作が軽快に行なえます。
- 6 寝台支持脚は、従来のもののように側面にはみだしていないので、とくに寝台水平位の診察には便利で、暗い室内でも安心して患者に接近でき、外観もスマートになっています。
- 7 寝台支持脚と側面防護板のコンビネーションによって寝台下方の2次X線の防護を行なっています。また側面には取りはずしが自由な防護鉛ゴム布を取りつけていますので、X線の防護は完全です。
- 8 寝台の傾斜は電動式で、スイッチの操作で立位から逆傾斜まで自由に簡単に行なえます。
- 9 寝台のスライドは電動式で、スイッチの操作で中央位から上方位まで自由に簡単に行なえます。
- 10 X線管は透視台の後方向にも自由に向けることができますから、リーダ撮影台やブッキ撮影台などと組み合わせでの直接撮影ができます。(連結式の場合)



第1図 CS-2透視台全景

仕 様

- 1 電源 単相 100V 50, 60%
- 2 速写撮影が行なえる種類

第 1 表

10×12 取りわく (4ツ切判)	タ	テ	各1枚写し
	タ	テ	2分割2枚写し
8×10 取りわく (6ツ切判)	ヨ	コ	各1枚写し
	ヨ	コ	2分割2枚写し
	ヨ	コ	4分割4枚写し

- 3 鉛ガラスの大キサと鉛当量およびケイ光板
角形鉛ガラス 360×360mm
4種 1.5mmpb
ケイ光板 高輝度特性 Shimadzu G-2
- 4 ケイ光板部の移動範囲

第 2 表

	上	下	左	右	前	後
移動範囲	約 105~150cm		左右おのおの 約 10cm		約 15~40cm (直結式・連結式)	
備 考	ケイ光板中心と床面との距離		透視板中心とケイ光板中心の距離		ケイ光板裏面と透視板面との距離	